

環境学習情報センター ニュース

★「Mie子どもエコ王国大会」大盛況でした！ H19.7.28～29

今年もとても暑い中、Mie子どもエコ王国大会が開催されました。2500人以上の方が、火おこし、自転車発電、木工工作など、いろいろな環境活動を楽しみ体験しました。



★センターで森に出会う

センターの図書コーナーには環境に関する絵本がたくさんあります。貸出しはしていませんが、センターにこられたときに、ページを開いてみてください。今回はその中から、自然に関する本を紹介しましょう。



「はっぱ」水野政雄 作
小学館刊

この本は、はっぱの工作を紹介しています。いろんな形の小枝や木の実もつかって、森の中の色とりどりの「はっぱ」から、森の生き物がたくさん現れます。「ぶくろう」や「みみずく」、「かぶと」や「とんぼ」など森に住んでいる鳥や虫、また「たぬき」や「きつね」などの動物、小川の「さかな」達が、色あざやかな「はっぱ」で森の中に表現されています。森の持つ魅力が、子ども達の想像力をかき立てます。(吉)



森へ
- たくさんのふしぎ傑作集 -
星野道夫 文・写真
福音館書店刊

この写真集をパラパラとめくると、たくさんの「ふしぎ」に出会えます。星野道夫の視線は、私たちが森へと誘いこんでゆきます。巨木の合間をぬって森の奥へと踏み込めば、想像もししていない景色が次々と飛び込んできます。果てしない時間が過ぎた足あとを目前にして出会った不思議は、呼吸をしているような森の自然の姿であり、ゆるぎない生命力です。(松)



雑草のくらし
- あき地の五年間 -
甲斐伸枝 作
福音館書店刊

とても美しい絵本です。作者は、畑あとのあき地に五年間もしゃがみこんで、小さな芽が出て、成長して、枯れていく様子をくる日もくる日も見つめ続け、一冊の美しい絵本に結晶させました。あき地は、いつまでもあき地ではなく、花も草も、そこにいる生き物もすべて変化していきます。変化の音が聞こえることもあります。私が使っていた畑でも、夏のはじめの晴れた日、カラスノエンドウの種がパチパチとはじける音がしていたことがあります。何か不思議な音楽を聞いているようでした。(辻)

今月の企画展示

7月～9月の展示



7月「三重県 土地・資源室 水資源・エネルギーグループ」

今、太陽光発電や風力発電などが「新エネルギー」と呼ばれて注目されています。地球温暖化対策に役立つので、みんなが関心を持って未来のエネルギーについて考えようね。「新エネルギー」についてもっと知ってね。



8月「三重県地球温暖化防止活動推進センター」

地球の温暖化の防止には、ひとりひとりが身の回りで工夫をすることが大切です。2012年までに温室効果ガスを6%減らそう(1990年比)とがんばっています。三重県地球温暖化防止活動推進センターでは、68名の活動推進員が活動中です。出前講座もやっているのでご利用ください。



9月「子どもエコクラブ」

クラブの活動をもっと知ってもらいたいので見に来てね。まず、クラブの活動を簡単に説明します。次に、活動の特典を説明します。みんなもチャレンジしよう。家族や友達で入ったり、学校やクラスで入ってもオッケー。楽しく環境活動をしましょう。



グリーンくん

ようこそ三重県環境学習情報センターへ



グリーンちゃん

環境学習情報センターに来館してくれた小学校・中学校 (6月～8月)

四日市市立中央小学校 4年生
四日市市立三重西小学校 4年生
椋山女学園大学付属小学校 4年生

鈴鹿市立愛宕小学校 6年生
四日市市立八郷西小学校 4年生
天津市の中学生 (中国)
四日市市立塩浜中学校

三重県環境学習情報センターでは
社会見学・環境学習体験教室の
受入を行っています。